

令和4年 5月13日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立小俣小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立小俣小学校	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

### (3) 自校における評価

- ・月1回の英会話学習ではあるが、第1学年からの実施で、英語によるコミュニケーションの基礎的資質づくりにつながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施により、子供たちは英語に慣れ親しむ様子が授業の様子からもうかがえる。そのおかげで、第3学年からの週1時間の英会話学習がスムーズに展開されている。
- ・今後も英会話学習の目的である「英語に慣れ親しむ」をよく理解した上で、学習活動を展開することが必要である。

### (4) 学校関係者による評価

#### <児童>

- ・英会話室での座学ではなく、自由な雰囲気の中で、ALTやEAAとの英会話学習に取り組み、グリーティングやイングリッシュソングなどを楽しんでいる。
- ・令和2年度から実施されている「英語チャレンジデイ」が、令和3年度も児童に好評であった。

#### <保護者>

- ・英会話学習の実施後（授業後）、その日に学習した単語やセンテンスを進んで使うなどの様子が見られる。
- ・高学年では、自主学習として、英語ワークや参考書などを活用して取り組む様子も見られる。

## 4. 実施の効果及び課題

- ・学習後には、教室・廊下等で「ハロー!」「グッド モーニング!」「グッバイ!」など、英語に自然に慣れ親しむ児童が増えてきている。引き続き英語が好きな児童を育てていきたい。
- ・令和2・3年度は、英語専科が配置されたことにより、EAA（ALT）、専科教員、担任の3人で英会話学習が展開され、今まで以上に児童に関わることができるようになった。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・今年度は、担任がT1の役割を担い、より積極的に学習が展開されると良い。
- ・ALTやEAAとの打合せ時間を確保することで、より授業の目的に合った英会話学習を展開していく。
- ・「英語チャレンジデイ」については児童に好評であったので、さらに工夫改善をして実施することが望まれる。